

大学図書館の運営評価 アウトカム評価を中心に

文教大学湘南図書館 戸田 あきら

大学の認証評価

- 自己点検評価から第三者評価へ
1991年 大学設置基準の大綱化と点検評価
努力義務
- 2004年 学校教育法による認証評価の義務
付け
- 大学にもPDCAサイクルに基づく経営プロセスを

認証評価機関

- (財)大学基準協会 2004年11月1日
- (独)大学評価・学位授与機構
2005年3月3日
- (財)日本高等教育評価機構
2005年7月20日

評価基準

- 別紙参照
- 機関により若干異なる

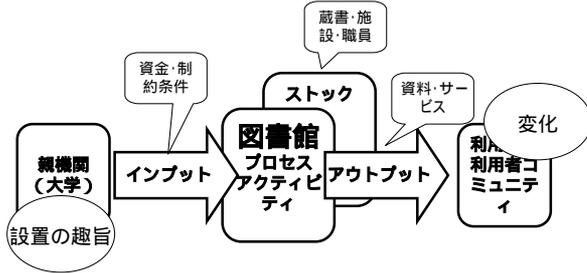
日本の評価基準の特徴

- 現在は運営の仕組みや教育資源の投入
状況中心
- アウトカム・エビデンスが重視されていない

米国の大学認証

- 認証機関 6地域包括的認証団体
分野別専門職プログラム認証
団体
- 制度 認証の意味
- 基準 アウトカム・エビデンスの重視

図書館運営モデル

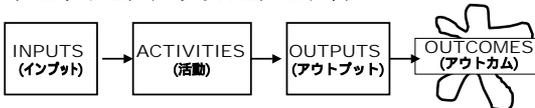


様々な視点と測定・評価手法

- インプット・ストックを業務統計により測定
- アウトプットを業務統計により測定(単位あたりなどで標準化)
- コスト(プロセス)に注目 ABC分析
- パフォーマンス指標 機能に着目しその機能の性能・効果を計る(規格化により標準化)
- 顧客の認識 満足度評価 ServQual CVM
- 利用者の変化による アウトカム評価

アウトカムとは(1)

プログラム・アウトカム・モデル



United Way of America "Introduction to Outcome measurement: What are Outcomes?"

アウトカムとは何か(2)

- 「短期間のもの」と「長期間のもの」、隣接したものとはなれたもの、一次的なもの二次的なもの、意図したものと思図しないもの、肯定的なもの否定的なもの、単独のもの複合的あるいは階層的なもの」
- 「アウトプットは明瞭だが、それと対照的にアウトカムは持続する変化である。」

"Encyclopedia of Evaluation" Sage Publication 2005

アウトカム評価とは

- アウトカムを測定し、それによって組織あるいはプログラムの評価をおこなう取り組み
- アウトカムを評価の指標とするのは「プログラムがその目的達成のためにどの程度役割を果たしているかについて、より深く理解できる」 ハリー・P・ハトリ 『政策評価入門』
測定する変化は、目的(使命・役割)に対応したものでなければならない。

図書館がめざすアウトカムとは(1)

- 大学の使命 「広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用能力を展開すること」学校教育法第52条
 < 大学基準協会学士課程基準 >
 - 専攻分野の専門的知識
 - 一般教養
 - 総合的な判断力
 - 豊かな人間性
- 図書館の使命 以上の大学の使命達成に貢献すること

図書館がめざすアウトカムとは(2)

- 専門知識
- 一般教養(含:ものの見方考え方、本を読む楽しさ)
- 情報リテラシー
(含:調べる力、吟味・評価する力、活用する力…)
- 生涯学習への態度・学ぶ面白さの理解
- その他にも…

ハーノンの方法

- 情報リテラシーに焦点をあてる
 - 情報リテラシーの意義
 - 図書館の情報リテラシー教育の土壌
- 科学的・研究的測定方法
 - 実験的手法の可能性
 - 直接的証拠と間接的証拠

実践例

- The Citadel Daniel Library
 - Elizabeth W. Carter "Doing the Best You Can with What You Have: Lessons Learned from Outcomes Assessment" The Journal of Academic Librarianship 28(1) p.36-41
- 恵泉女子大学
 - 山田かおり「図書館利用教育の評価：嘉悦大学1年生を対象としたアウトカム測定を試み」
大学図書館研究 No.73 2005.3 p.15-24

アメリカと日本の違い

- 大学評価の中での教育上の成果(アウトカム)の追求度
 - 日本における情報リテラシー教育の位置
 - 情報リテラシー教育と図書館の関係
- 日本では、この方法で十分かどうか若干の不安

全般的な学習成果との関連

- 専門知識や一般教養知識の獲得と図書館
- 情報リテラシーや論理的思考能力と図書館
- 学ぶ楽しさの理解や自律的に学ぶ姿勢と図書館

まとめ

- 図書館の価値とは
- アカウンタビリティ